

知床インタープリテーション全体計画(ストーリーブック)の構成案			資料2-1		
部	章	見出し	内容	ページ数	
0		表紙—表紙ウラ		2	
0		中表紙		1	
<b>第1部 概説編：ストーリーブックの目的と使途</b>					
1	- 1	はじめに	読みやすく編集	1	
1	- 2	この本の使い方		2	
1	- 3	目次		2	
1	- 4	SBの目的と構成		1	
1	- 5	IPとIP全体計画		1	
1	- 6	対象とSBの活用方法		2	
<b>第2部 ストーリー編：知床を知り・守り・楽しむためのストーリー</b>					
2	- 1	来訪者と共有したい知床の価値	ですます調、ゴシック系(横書き)	2	
2	- 2	<b>ストーリー1 自然と生命</b>			
		1-1	流水からはじまる海・川・森のサイクル その豊かな恵みをいただく	流水を起点とした生態系は、海から陸へとつながり観光や漁業など人の営みにもつながっている	4
		1-2	陸のヒグマ、海のシャチ、空のオオワシ、 自然の王者に囲まれ、人間の小ささを実感する	陸・海・空の生態系の頂上に立つ生き物と生命の循環に触れ、すべては生かされていることを知る	4
		1-3	人類にとって不可欠な「ありのままの自然」の存在 地球は誰のものか気づかせてくれる場所	世界有数のヒグマの生息地・知床。先人の知恵と共に地球は誰のものかを共に考えることができる	4
2	- 3	<b>ストーリー2 地理と景観</b>			
		2-1	火山活動により海底から隆起した山々 その軌跡を自らの足で確かめる	海のすぐそばに高い山が連なる知床半島を歩くことで多様な景色・多様な動植物に出会うことができる	4
		2-2	火山が生み出した奇跡のアクティビティ 「カムイワッカ湯ノ滝のぼり」	アイヌ語で「神の水」と呼ばれる温泉の滝を登り、地球のチカラを全身で体感できる	4
		2-3	「海拔0mの高山」とも呼ばれる地形が生み出す絶景と強風 人間の五感に訴え野生を呼び覚ます	ルサの強風をはじめ極端な天候や急峻な地形は五感を開放し、能動的に動く力強さを与えてくれる	4
2	- 4	<b>ストーリー3 歴史と文化</b>			
		3-1	オホーツク人、アイヌ文化、津軽藩氏… 力強く、しなやかに生きてきた人々の軌跡	先人たちの「ロマン」の軌跡をたどることで地の果ては、北の世界への入口であることも知る	4
		3-2	厳しい自然の中で「りょう」を生業とする 漁師と猟師の誇りと生命力	潮の匂い・血の匂い。「りょう」から食卓まで境界線がなく食べることにリアリティを実感することができる	4
		3-3	人間が開拓した土地を、原生の森に戻す 「しれとこ100平方メートル運動」	約50年前から地域に根付いていたサスティナブルという考え方クラウドファウンディングの元祖ともいえる	4
2	- 5	<b>ストーリー4 暮らしと産業</b>			
		4-1	知床の生命のサイクルとつながる 海の幸と山の幸を味わう最高の贅沢	漁業と農業それぞれを担う生産者の顔が見え観光業にもつながることで特別な体験を生み出す	4
		4-2	ツーリストとローカルが出合う温泉巡り 暮らしや地質・風土を肌身で感じる	火山活動により誕生した、野生味あふれる温泉の数々知床の大地の恵みを分かち合い、ひとときの交流を楽しむ	4
		4-3	遥か昔から続く四季折々の特徴的な暮らし 訪れるたびに知らない体験ができる	季節ごとに変わる景色・グルメ・動植物、そして人の流れ何度でも新しい知床が体験できる	4
<b>第3部 計画編</b>					
3	- 1	来訪者の想定(現状と今後期待される来訪者)		4	
3	- 2	利用のビジョン的な 来訪者に望まれる体験(やりたいこと、ゾーニング案)		2	
3	- 3	既存の計画や知床のルール(との関係性)		2	
3	- 4	体験のコンテンツやプログラム		4	
<b>第4部 インフォメーション・資料編：みんなで学び、伝えるシレットコのコト</b>					
4	- 1	参考文献や書籍情報		4	
4	- 2	用語集		2	
4	- 3	作成プロセスとWS		1	
4	- 4	制作体制と今後の予定		1	
4	- 5	索引		2	
4	- 6	奥付		1	
		見返し		1	
		裏表紙		2	
		合計		88	